

発 言 通 告 書

令和5年9月4日

松山市議会議長 渡部克彦 殿

松山市議会議員 河本英樹

次のとおり通告します。

発言順位	5	受領日時	9月 4日 午前 10時 55分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 70 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	本市の財政運営について	(1) 令和4年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用状況と実績について (2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金終了後の平時化に向けた財政運営について
2	本市の人材確保について	(1) 人材不足が顕著な中、多様な人材を確保するために、正規職員の事務職について、どのような採用を行っているのか。 (2) 本市の給与制度について ① 平成30年度から令和4年度までの本市のラスパイレズ指数の推移と他の中核市との比較について ② 実務経験者として採用される職員の給与の格付けについて (3) 多様な働き方について ① 本市のテレワークの今後の方向性について ② 男性職員の育児休業取得促進に向けた今後の取組について
3	介護分野における支援や対策について	(1) 現在実施している人材確保に繋がる支援制度について、取組状況と実績を問う。 (2) 厚生労働省の事務連絡「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う人員基準等に関する臨時的な取扱いについて」の具体的な内容を問う。 また、以前と同等に消耗品の支給及び補助金の支援制度はあるのか。 (3) 施設内で集団感染が発生した場合、人的支援の体制は整っているのか。 また、今後、コロナウイルス感染症とどのように向き合い、関係各所とどのように連携し取り組んでいくのか具体的な展望を問う。 (4) 行政機関として事業者に対する法改正の内容について、どのよう

